

## 1、男子団体戦

### 【男子団体結果】

優勝: 上宮 (大阪) 準優勝: 多治見 (岐阜)  
3位: 杉戸 (埼玉) 3位: 二本松第一 (福島)

前日の男子個人戦では、東北勢が上位を独占する強さを見せましたが、一転団体戦は、まったく違った結果となりました。

何と言っても男子は、西郷第一中 (福島) が、前日個人戦で1位と3位となって誰もが認める優勝候補でした。

西郷第一は東北で優勝を飾ることができずに、組み合わせでは第4シードのパッキンに入ってしまった。

初戦松江第四に勝利、その後北信越一位のシード校の滑川2-1で倒して次に多治見と対戦します。

多治見は東海一位、決勝戦で対戦してもおかしくない対戦で、注目の一戦となりました。

西郷は第一のオーダーは1, 3, 2、一方多治見は3, 2, 1で、多治見がオーダーを当てた形になりました。

結局、オーダー通り、三本目勝負になりました。

多治見のエースも実力者で、玉木・伊藤ペアも都道府県のダブルスで同一校ペアとしてベスト4、ミズノカップではベスト8に入って、安定した実力を持っているペアです。

西郷第一の二番手は前日個人戦三位になった、根本・檜山ペアで、アンダー14でもある伊藤選手の元気あふれるプレーで (元気すぎてイエローが出るくらい) 終始ペースを持ってきて、西郷第一に付け入る隙を与えずに快勝します。

これで多治見はベスト4、多治見は準決勝でも杉戸に1，2番手が2本とって2-1で勝利、決勝に臨みます。

一方、優勝候補の一角の上宮（大阪）も近畿大会では三位で出場した関係で第三シードのパッキンに入っていました。

一回戦勝利後、関東1位の小金南（千葉）をやぶり、九州1位の吉富（福岡）と対戦します。吉富は春に行われたジュニア王座決定戦の団体戦で1位になっていますし、エースの中村・林ペアの活躍も楽しみでした。

中村・林ペアがファイナルで勝利したものの、上宮の選手の層が厚く3本揃ってしっかりしていて、吉富に付け入る隙を与えませんでした。

その上宮の強さは準決勝でも見られて、東北1位の二本松第一（福島）の守谷・斎藤ペアが、瀬戸・山根ペアを倒すも、あとの2ペアがしっかりと勝利をして決勝へ進出しました。

決勝では、西郷第一の3本目勝負を決めた多治見エースの玉本・伊藤ペアが瀬戸・山根ペアに敗れ、2-0で上宮が快勝しました



男子団体優勝した上宮

## 2、男子個人戦

【男子個人決勝】 西郷第一 北野 鈴木 4－0 で尾上 水木 小山 に勝利

男子個人は東北勢がベスト4を独占するなど、東北の強さが目立った結果になりました。特に優勝した北野 鈴木ペアは西郷第一(福島)で、3位にももう1ペア入り西郷第一の強さが目立った結果でした。

準決勝、決勝は東北勢の、まさに東北大会の様子さながらでしたが、試合は力のぶつけ合いでしたが、競ることも無く、いずれも短い時間で終わる試合でした。

優勝した西郷第一中の北野・鈴木ペアは東北ブロック1位で都道府県のダブルスでも同一校ペアで3位に入賞していました。

西郷第一の2番手の根本・檜山ペアも途中、多治見のエースで東海1位の玉本・伊藤ペアをG4－0でやぶり、3位に入賞しました。

東北ブロックでは2位になった青森尾山中学校の水木・古山ペアはミズノカップ優勝の有力ペアでも、注目株だったのですが、期待に応えて、決勝まで進出しました。

東北3位の地元山形の中山中学校の渡辺・本間ペアも、都道府県対抗のダブルス

では同一校ペアでベスト8に入賞していて、その実力を発揮して地元開催で3位に入賞しました。

近畿1位で勝ち上がってきて有力ペアの大阪上宮の中西・田中ペアは3位になった尾上ペアに4きめでファイナル惜敗でした。



準決勝 向こう側が北野・鈴木ペア

中国1位の山口下松中学校の松本・中川ペアは、初戦に杉戸中に敗退選手。

九州ブロック5位ながら吉富中学校エースの中村・林ペアは4きめで、優勝した西郷第一ペアにG1－4で敗退。

北信越からは、1位の新潟県燕中等の小林・関根ペアは初戦で調子が上がらないまま初戦で敗退でした。

### 3 女子団体戦

【女子団体結果】

優勝 芝東中学校（埼玉）準優勝 野津中学校（大分）

3位 昇陽中学校（大阪）3位 岩国中学校（山口）

優勝候補だった、第一シードの山陽女子（岡山）は初戦の山形五中戦から苦戦して、三本目 G 1 - 2 から逆転で何とか初戦を突破したものの調子が上がらないまま、昇陽（大阪）と次戦で対戦して 0 - 2 で敗退してしまいます。



#### 優勝した芝東

一本目の大将同士の対戦でファイナルで負けたのが、痛かったのですが、3年のいない1，2年生中心の若いチームなので、今後の一年間も注目チームであることに間違いはありません。

優勝することになる芝東（埼玉）は、個人戦振るわなかったこともあってかいつも以上に気合いが入っていました。

高橋・松井ペアと小林・飯塚ペアの二本柱に加え、3番手の黒坂・井上ペアも決勝で快勝するなど、安定したチームワークを見せていました。

前日初戦敗退した小林・飯塚ペアも、一転安定感のあるプレーで、高橋・松井ペアとともに、決勝まで全勝とまったく危なげない試合ぶりでした。

決勝のもう一方の相手は、九州3位進出の野津中。まったくノーマークだったのですが、初戦の芦別（北海道）に2 - 1で勝利した後、個人戦前日優勝の竹田・中野ペアのいる近畿1位の大津（兵庫）に3 - 0の快勝。

竹田・中野ペアをばらしているとはいっても躍進と言えます。

野津は、次の北信越1位の宝達にもねばりのテニスで、相手のミスをさそい宝達のエースの宮村・田川ペアを倒して3本目勝負を制して準決勝へ進出。

準決勝では東海1位の加木屋（愛知）をやぶった北郷（愛媛）をやぶってあがってきた岩国（山口）にもずっと同じオーダーの3，1，2で対戦してこの日、全ての3本目勝負を制してきた川野・小橋ペアが勝利して決勝に進みました。

決勝戦は芝東の前に力尽きた感がありましたが、大健闘でした。

## 4 女子個人戦

【女子個人戦 決勝】 竹田・中野（大津/兵庫）4－1山崎・藤岡（中能登/石川）



### 竹田・中野ペア

女子はブロック1位が次々に序盤で姿を消しつつも、最後は優勝候補で唯一残った竹田・中野ペア（大津）が優勝、都道府県対抗大会の団体戦、ダブルスにつづき3冠をを手に入れました。

女子注目だった、関東1位の小林・飯塚ペア（芝東）は地元選出枠の斉藤・本田（余目）に初戦で敗退しました。地元枠とは言え、実力のあるペアだったことと、小林・飯塚ペアの調子がまったく上がらない中での敗退でした。

東海1位の佐古・藤城ペア（加木屋）も初戦で敗退しました。相手は水澤・佐藤ペア（築地）で、このペアは、北信越5位ながら、都道府県対抗のダブルス3位の結果を残しているペアで、ここは実力勝負だった感じがします。

優勝候補の一角と目されていた、中国1位の吉本・立花ペア(山陽女子)は、結果2位になった山崎・藤岡ペア(中能登)に3回戦で敗退することになりました。

山崎選手は、本大会屈指にスピードシュートを誇る選手で、前衛とのコンビネーションと相まって、気持ち良くシュートを打って勝ち上がっていききました。

女子の準決勝が一番、見ていてはらはらどきどきの展開でした。

2つの準決勝はいずれもファイナルまでいきました。

浅倉・西東ペア(戸塚)は優勝した竹田・中野ペア(大津)に後衛浅倉はシュートで攻めて、リードを追いつく展開でファイナルへ。ファイナルも序盤は競りながら、後半力つきるという感じでしたが大健闘の1戦でした。

一方の上野・吉田ペア(昇陽)対山崎・藤岡ペア(中能登)の一戦は昇陽ペアが主導権を握っている試合でしたが、ファイナルへ。

そこでもP 6-3とマッチを昇陽が握りますが、そこから脅威の追い上げで、何度かのジュースを繰り返し、中能登が勝利を修めました。

**発行元**

—中学生ソフトテニス顧問のHP—

管理・運営 中学生ソフトテニス顧問の会